

2 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 本市における、不登校、ニート、引きこもりの対策について</p> <p>【質問趣旨】 不登校などが原因でニートや引きこもりになってしまい自宅からほとんど外出ができず、仕事や、学校に行けなくなり、社会活動ができない人が、近年社会問題となっている。このことから厚生労働省はこの問題に対し、各種事業を実施しており、全国の精神保健福祉センター、保健所、児童相談所等において、相談等の取り組みが行われてきた。本市においても様々な取り組みがなされている中で、困難な状況におかれている方々に対しての支援について伺う。</p>	<p>(1) 市内小中学校における不登校の現状について</p> <p>(2) 不登校になってしまう原因について</p>	<p>① 「平成30年度いじめ不登校対策推進協議会活動報告」を見ると、不登校の児童生徒数は過去25年間、ほぼ横ばい状態である。年々、全体の児童生徒数が減っている中、実質は不登校の割合は増えてきていると見えるが、どのように分析しているのか、またその原因についてどのように考え、対策を進めているのか伺う。</p> <p>② 20年前、30年前の不登校児童生徒と、現在の不登校の児童生徒では、その性質が変化してきていると考えるが、対応はどのように変わってきているのか伺う。</p> <p>① 「平成30年度いじめ不登校対策推進協議会活動報告」の分析によると中一ギャップを乗り越えられない生徒が不登校に発展していくとの記述があるが、本市が現在進めている全市での小中一貫教育において、どのように対応し、またそれによって中一ギャップの解消が可能と考えているのか伺う。</p> <p>② 不登校になってしまう児童生徒にはそれぞれの状況があり、原因についても様々である。そういった状況の中で、普段から接している教職員の対応、またスクールカウンセラーなどの対応は極めて重要であると考えているが、具体的にどのように対応するのが適切と考えているのか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>また根本的な解決にはどのような取り組みが効果的なのか、長期的な観点から本市の見解を伺う。</p>	<p>(3) 不登校について解決できない場合</p> <p>(4) ニート、引きこもりについて</p>	<p>① 不登校のまま義務教育期間を終えてしまった生徒の事例はあるのか伺う。</p> <p>② その場合にはどのような義務教育終了後のサポート体制があるのか伺う。</p> <p>① 若年層のニート、引きこもりについて地域若者サポートステーションに相談窓口があり、本市としても対策が進んでいるところではあるが、実際に就業まで進んだ事例はどのようなものか伺う。</p> <p>② ひきこもりの若者については、それまでの生活環境から、地域若者サポートステーションに出向くまで相当なハードルがあると推察される。実態が把握できている事例があればこちら側から出向いて行くことも考えられるが、いかがか。</p> <p>③ ひきこもりの若者については、家族以外の人と接することが極端に少ないため、担当者との人間関係を構築することから始めなくてはいけないと考える。このことから、担当者が長期間対応を求められることとなるがその対応はどのようなか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 大人のひきこもり問題について</p> <p>(6) ひきこもりを未然に防ぐために</p>	<p>① 近年、大人のひきこもりについて社会問題となってきている。地域若者サポートステーションは39歳までの対応となっているが、40歳以上のひきこもりについて把握はできているのか伺う。</p> <p>② 大人のひきこもりについては突然そうになってしまうものではなく、過去に原因があるものが多いと思われる。義務教育期間から、青年時代、壮年期に至るまでの長期間にわたるサポートが必要と考えるが、担当各課の情報の共有、横串連携についてどのような状況か伺う。</p> <p>③ いわゆる8050問題について本市としてどの様に考え、対応をして行くのか見解を伺う。</p> <p>① これまでの質問から、一旦ひきこもってしまうと長期化、深刻化しやすいために長期的に見て、早期対応、未然予防が大切だと考える。予防的な対策の考えはあるか伺う。</p> <p>② 平成28年内閣府の調査〈若者の生活に関する調査報告書〉によると、ひきこもりになったきっかけについて18.4%が不登校となっている。この結果を見ても改めて義務教育期間のうちに解決しておかなければならないと感じるが、考えを伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(7) 家庭教育について	<p>① ひきこもりの問題については本人の問題のみではなく取り巻く環境についても対応が必要と考える。そのような家庭について支援していくことは大切なことと思われるが、どのような対策を講じているか伺う。</p> <p>② 教育基本法では、子供の教育について第一義的な責任は父母その他の保護者と定義している。しかしながら近年は、孤立化して誰にも頼れなく子育てをしている家庭が存在している。それらの保護者に対して、様々な情報や、家庭教育についての学習機会を提供し、サポートをしていく家庭教育支援が必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。